

こんにちは。または、初めまして。創作文芸を中心に活動するサークル、『雪待終夜』の鈴響 雪冬です。

前回のペーパーで「実に十六ヶ月ぶりの高崎」などといった事を書いていたようですが、無事にその記録を六ヶ月更新して、二四ヶ月ぶりの高崎です！二〇〇八年の高崎以降、私事ですが私生活が忙しく、イベントを東京だけに絞ったと言うこともあり、前橋を含めて群馬では二

年ぶりの参加となりました。二年経ってできあがった新刊は一冊という、筆不精です。今後は生活も安定して、もっとイベントに…と言いたるところですが、数年前から予告されていたとおり、高崎地域医療センターの統廃合に伴う取り壊しで、しばらくイベントが行われないうです。この点については私のサイトでも何度か触れていますね。高崎のイベントは、群馬県でのデビューイベント（最初の参加は一般参加で二〇〇三年三月）でしたから、何かと思いつ

れも深く、すこし寂しく思います。新しい会場でも物販が認められて、イベントが開催されるようになればいいですね。さて、今回のイベントですが、二年前のペーパーでも同じ事を書いているようですが、11月14日のコミティア94（東京ビッグサイト）となっています。スペースは「めー12a」、文芸スペースとなっております。新刊の発行予定はありませんが、会場に立ち寄った際はスペースに来ていただける、うれしく思います。

作品紹介

短編・短編集

洋菓子専門店ショコラに訪れた幾つかのバレンタインの物語 [200円：A5・50P・レーザー（表紙黒単色）]

恋い焦がれる男と、恋破れそうな女。洋菓子専門店ショコラに訪れた幾つかの物語は、バレンタインを境にどうなるのだろうか。

黒と髪と彼女たち [200円：A5・54P・レーザー（表紙4C・^{インクジェット}1J）]

黒のスクリーンには、移りゆく感情と移りゆく時間、移りゆく風景を模様のように投影されていた。真っ黒な髪を持つ5人と、それを見守る5人と一匹、黒髪好きの貴方に捧げます。

中編

巫女のスゝメ [250円：A5・68P・レーザー（表紙4C・^{インクジェット}1J）・合同誌]

時代も場所も違う二つの神社に、二組の巫女がいた。家族三人で神社を切り盛りする巫女達と、その立場にありながら神の存在を問う巫女。彼女達は何を抛り所にして生きているのだろうか。

百合ははじめ [250円：A5・100P・レーザー（表紙4C・1J）・合同誌]

好きな人が女の子で何が悪い。好きになった人が、たまたま女の子ただただ。二人を妨げるものはない。ただ、思い思いの恋愛をするだけ。それが、二人と二組の恋だった。

長編

ReSin-ens ^{リサイエンス} 遼なる風、彩りの音、降りしきる雪 [550円：A5・202P・レーザー（表紙4C・1J）]

ReSin-ens 遼なる風、彩りの音、夜空に輝く月 [600円：A5・220P・レーザー（表紙4C・1J）]

好きという感情、それがあると満腹になるまでご飯が食べられるの？

それがあると、死んだ人が生き返るのか？

人を好きになって…自分を傷つけることになるのなら、始めから人のことなんて好きにならなければいい。そうすればもう、辛い思いなんてしなくてすむから。一人の少年と少女、二人の目の前に少女は現れた。それはまるで、季節を払拭する颯のように。ある時から止まっていた三人の歯車が急激に動き出す。その歯車によって、三人は一体どこに向かうのだろうか。（全4巻を予定）

最新刊の紹介

黒と髪と彼女たち

向日葵の花びらのような髪、ワインレッドに染まる髪、夜の空に似た髪、空色を淡く灯す髪、大輪に負けずとも劣らない輝きと情緒を含んだ髪。移りゆく時間と移りゆく模様を映し出すその髪は彼女自身をも映し出していた。

野暮ったいとか、垢抜けないとか、オタク臭いとか、暑苦しいとか、絶滅危惧種とか色々言われているけど、それでもやっぱり黒髪が好き。ロングはもっと好き。そんな思いを詰め込んで一冊の本にしました。

黒髪とそれを持つ5人の少女達の日常を描いた物語。黒と髪と彼女たち、発行します。

今回のスペース配置

F-8 (創作一般)

ウェブサイト [小説・音楽・同人・通販]

<http://snowysnow.sakura.ne.jp/>

表紙の写真

2010年9月10日、青森県にて撮影。

小説好房
雪待終夜

おでかラング in 青森 125 [2010年10月24日]

*サークル雪待終夜情報紙 No.9